

札幌医科大学高難度臨床検査センターに関するサウンディング型市場調査 結果の公表

令和7年12月1日

1 サウンディング実施の経緯

札幌医科大学附属病院における高難度臨床検査センターの整備・運営について、質の高い臨床検査サービスの提供及び大学資産の有効活用を図ること検討しています。

民間事業者からの創意工夫に富んだ提案を広く求めるため、以下のとおりサウンディング型市場調査を実施しましたので、その結果を公表します。

2 対象施設及び整備候補地の概要

(1)施設名: (仮称)高難度臨床検査センター

(2)所在地: 札幌市中央区南1条西18丁目291-162のうち(旧第3駐車場)

(3)敷地面積: 1,477.07 m²

(4)都市計画制限: 用途地域～ 商業地域

建蔽率～ 80%

容積率～ 400%

高度地区～ 60m高度地区

防火・準防火地域～ 準防火地域

(5)整備方式:PFI方式等を想定した民間協働による施設整備及び運営

3 実施のスケジュール

6月13日(金)	実施方針の公表
6月30日(月)	現地見学会・説明会の参加申込期限
7月11日(金)	現地見学会・説明会の開催
7月25日(金)	サウンディング参加申込期限
8月8日(金)	サウンディング実施日時及び場所の連絡
8月15日(金)	質問受付期間(9月5日(金)まで)
10月10日(金)	提案書の提出期限
10月29日(水) 10月30日(木)	サウンディングの実施
12月1日(月)	サウンディングの結果公表

4 サウンディングの参加者

参加事業者は3者でした。なお、事業者名は公表しません。

5 サウンディングの結果概要

対話項目	主な意見(概要)
高難度臨床検査センターの整備・運営に関する基本構想	<ul style="list-style-type: none"> ○高度医療機能や先進健診機能を備えた医療地区の形成 ○高難易度臨床検査センターを中心とした医療ビルの開発 ○大学としての中長期的な臨床検査のあり方
合築可能な付加施設の提案(例:宿舎、研究室、飲食施設、研修室、倉庫等)	<ul style="list-style-type: none"> 検診センター、クリニック、飲食、コンビニ、事務所、集合住宅、物販店、貸し駐車場 等
PFI 等の事業スキームに関する提案	<ul style="list-style-type: none"> ○ 定期借地権の活用 ○ BTO 方式
地域貢献・環境配慮・災害時機能等の社会的価値を踏まえた提案	<ul style="list-style-type: none"> ○付加施設による地域住民の利便性向上 ○ZEB Ready の認証建物 ○屋上の緑地化、太陽光発電 ○高効率検討空調設備、LED 照明、節水型トイレ ○防災備蓄倉庫
整備範囲、事業期間、管理運営方法に関する提案	<ul style="list-style-type: none"> ○施設 6~8 階 ○整備期間 3~4 年程度(実施設計 1 年、建設期間 2~3 年程度) ○民間事業者による施設整備 ○民間委託による運営(直営方式など)
資金調達に関する考え方(初期投資、運営費、財務スキーム、リスク分担など)	<ul style="list-style-type: none"> ○民間資金活用 ○大学負担 ○施設利用者負担
収支計画・採算性の見通し(施設運営収入の想定、費用負担構造等)	<ul style="list-style-type: none"> ○建設費高騰のため現時点における試算は困難
大学側に求める支援内容(用地提供条件、施設使用料、インセンティブ等)	<ul style="list-style-type: none"> ○大学との協力連携体制の構築 ○行政機関から支援の要請
事業スケジュールの見通し(設計・施工・運営開始時期等)	<ul style="list-style-type: none"> ○事業採択から3~5年程度
その他、提案に必要と考えられる事項	<ul style="list-style-type: none"> ○特になし

※参加事業者のアイディア及びノウハウ保護に関することについては公表しません。

6 サウンディングの結果を踏まえた今後の方針

今後、本サウンディングの結果を踏まえ、事業構築に係る調査や内容の整理・検討を進めてまいります。